

2017年度Ⅲ期

こんなに面白い!

古典文学に親しむ…

源氏物語に親しむ

～各巻のあらすじとそのエッセンスを味わう～



講師：青木 登 紀行作家

源氏物語は平安時代の紫式部が書いた世界最高の文学作品。日本人にして、源氏物語を知らずに無為に過ごすのは惜しい。源氏物語には日本人の感性・喜怒哀楽・生き方・美しい日本の自然など、日本のすべてが凝縮されている。

しかし、源氏物語は余りにも長すぎる。また千年前のことで現代の私たちにとって、どうしてもよいことが書かれている。そうしたことをカットして、源氏物語のエッセンスだけを取り上げて読むと、どんな現代小説よりも面白い。人間について、自然について、学ぶことが多い。

源氏物語は54帖(巻)から構成されているが、各巻が独立した一つの物語になっている。講座では各巻のあらすじを紹介しながら、重要な原文を取り出して読んでゆく。難しい古語や文法は無視して、誰にでもわかるように解説する。学生時代に古文の嫌いであった方を特に歓迎。誰にでも源氏物語はこんなに面白かったのかとわかるようになる。

講座の進め方は、1回2時間、2～3巻ずつ読んでゆく。全部読むと20回くらい必要になるが、源氏物語はどこから読んでも面白く、どこでやめてもよい。それが源氏物語の魅力である。奥深さである。今期は巻1から巻12までを読む。角田光代訳『源氏物語・上』が今年の9月30日に刊行された。本講座を受講したのち、巻々の現代語の全訳を読んでみると、『源氏物語』通になれる。



(講座内容については裏面)

日時 2018年 1/11・25 2/8・22 3/8
第②・④木曜日 10:00～12:00

場所 (公財)社会教育協会 日野市多摩平1-2-26
シンデレラビル3階

(JR 豊田駅北口徒歩1分 1階が「すき家」)

講師 青木 登 (紀行作家・NHK 多摩カレッジ講師)

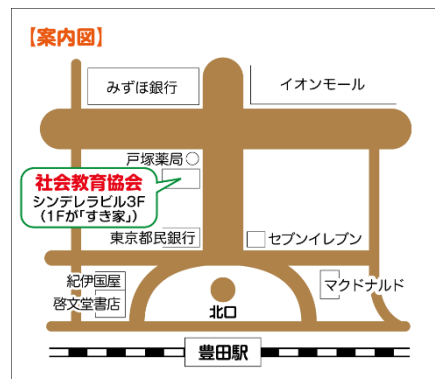
参加費 9,970円(全5回・消費税込)教材費 1,000円別途

申込み 電話か FAX でお申込み下さい。

TEL042-586-6221 FAX042-589-3626

主催 公益財団 社会教育協会 〒191-0062 日野市多摩平 1-2-26 シンデレラビル 3階

<http://www.zaidan-syakyo.org/>



※ キャンセルされる場合は、当協会の規定によります。



第1回

- 卷1 「桐壺」 ……源氏の誕生から元服まで。亡くなった母に似た義母の藤壺を慕う。
卷2 「帚木」 ……源氏17歳。男たちが女性論をたたかわす。源氏は人妻の空蟬と契る。
卷3 「空蟬」 ……源氏は空蟬の寝所に忍び込んだ。しかし巧みに逃げられた。

第2回

- 卷4 「夕顔」 ……源氏はユウガオの花のような女性に巡り合う。しかし果敢なく急死する。
卷5 「若紫」 ……源氏18歳。義母の藤壺と密通。藤壺に似た少女を見つけて養育する。

第3回

- 卷6 「末摘花」 ……源氏はとんでもないブスの末摘花と契る。作者はそのブスぶりを容赦なく描く。
卷7 「紅葉賀」 ……藤壺が源氏と瓜二つの王子（後の冷泉帝）を生む。

第4回

- 卷8 「花宴」 ……桜の宴会の夜、源氏は朧月夜と契る。朧月夜は政敵右大臣の娘であった。
卷9 「葵」 ……源氏の正妻葵と愛人の六条御息所が葵祭り前夜に車争いをする。

第5回

- 卷10 「賢木」 ……源氏を愛した父帝が譲位し、政権が右大臣側に移る。源氏は苦境におちいる。
卷11 「花散里」 ……源氏が心の優しい女性・花散里に会う。それが源氏の唯一の慰めになった。
卷12 「須磨」 ……朧月夜との密通が発覚して、源氏は須磨へ都落ちする。

